京都創生

KYOTO SOUSEI
第12号

日本の財産である京都を守り、育て、未来へ

京都創生推進フォーラムの会員の皆様をはじめ、市民の皆様による京都創生の実現に向けた取組を応援する広報誌です。

【特集】東京で京都創生をPR！
「京あるき in 東京 2015 ～恋する京都ウィークス～」開催

■東京の京都ゆかりの施設やお店などで100以上のイベントやキャンペーンを展開しました。

毎年２月に、東京都内各所で京都をPRしている「京あるきin東京」。今年は、204の企業や大学などに参画いただき、120の催しを実施しました。また、開催期間をこれまでの約２週間から１ヶ月間へと大幅に延長したことで非常に多くの首都圏の皆さんに、歴史・景観・伝統産業・観光など、多彩で奥深い京都の魅力を堪能していただきました。

オープニングイベント

■丸の内KITTEでオープニングイベントを開催！

初日（２月４日）のオープニングイベントでは、門川京都市長とゲストのトークショーに、俳優の京本政樹さんとモデルのはなさんに着物姿で登場いただきました。今回「京都観光おもてなし大使」に就任いただいた京本さんには「100年後･1000年後に繋がるよう努力をしたい」と意気込みを語っていただき、はなさんには「私の仏像のダーリンは東寺の帝釈天様」とコメントいただくなど、お二人の京都への熱い思いを感じられる内容となりました。

オープニングイベントは、この後も、能楽に邦楽囃子を加えた創生劇場の邦楽仕舞「船弁慶～静御前と平知盛」や京都館館長・小山薫堂さんと女優の本上まなみさんのトークライブ、京都出身のシンガーソングライターつじあやのさんのアコースティックライブなど、多彩なプログラムを展開しました。

■外務省と共同で各国大使などに京都をPR！

さらに前日の２月３日には、京都市が、単独の地方自治体としては初めて、外務省との共催で大使館関係者等をお招きしたレセプションを開催。岸田外務大臣と門川市長のご挨拶でスタートしたこの催しでは、100の国と地域からご出席いただいた240名の方々に、日本酒や京料理、芸舞妓の舞など、京都の文化を体験いただきました。

外務省との共催レセプション

他にも多種多様の催しを展開した「京あるきin東京2015」。これからも首都圏はじめ全国から京都創生を応援いただけるよう取り組んでまいりますので、引き続きのご協力をよろしくお願いします。

★「京あるきin東京」については、下記のホームページ、フェイスブックページでご覧いただけます。
（公式ホームページ） http://www.kyoaruki.jp/
（フェイスブック） https://www.facebook.com/kyoarukiintokyo

京都創生推進フォーラムは、「国家戦略としての京都創生」の趣旨に賛同する団体、企業、市民が集まり、その実現に向けて自ら取り組み、相互に協力し、活動の輪を広げることで、京都から広く国内外に京都創生の機運を高めていくことを目指しています。

■東京で、京町家の継承、琳派400年をPR！

京都創生推進フォーラムと京都市では、「京あるき in 東京2015」と連携し、「国家戦略としての京都創生」の取組を、より多くの皆様に理解・応援していただけるよう、「京都創生連続講座 in 東京」を開催しました。

当日は、第1・2部を通して、のべ600名以上の方にご来場いただくなど、会場は大盛況。首都圏の皆さんの京都に対する関心の高さを感じられた一日となりました。

開催日：平成27年2月20日（金）　　会　場：野村コンファレンスプラザ日本橋

■京町家・東京シンポジウム「景色の継承 ―京町家の再生を通して―」

シンポジウムの様子

第１部は、デービッド・アトキンソンさん（㈱小西美術工藝社会長兼社長）と小川勝章さん（㈱造園「植治」次期12代）をパネリストに、小島冨佐江さん（NPO法人 京町家再生研究会 理事長）をコーディネーターにお迎えし、京町家の魅力と再生の意義を伝えるシンポジウムを開催しました。

パネルディスカッションでは、アトキンソンさんの「他国に発信する価値のある日本文化を、日本人一人ひとりがきちんと守り、伝えていくことが重要である」ことや、小川さんの「お庭の景色や町家の景色等、それぞれを自分ごとのよう捉え、たずさわっていく気持ちが大切ではないか」というお話を受けて、小島さんが「町家を守り続けることは、自らの住まいをきれいに、快適にするということだけでなく、一人ひとりの暮らしを見直して美しく再生することにより、その美しさがまち全体に浸透する」とまとめられました。

■琳派400年記念セミナー

山根　基世 氏

玉蟲　敏子 氏

第２部は、今年、400年記念の年を迎える琳派をテーマとするセミナーを開催。

まずは、山根基世さん（元ＮＨＫアナウンサー）に、俵屋宗達作と伝わる「伊勢物語図色紙」や尾形光琳の「八橋図屏風」を紹介しながら、それらに描かれた「伊勢物語」を、情景豊かに朗読していただきました。

続いて、玉蟲敏子さん（武蔵野美術大学教授）による講演では、今年は尾形光琳の300年忌でもあることから、「生きつづける光琳」と題して、酒井抱一がオマージュを捧げ、ヨーロッパでも人気を博する等、後世の人々に愛され続けるその作品の魅力等についてお話しいただきました。

■京都創生PRポスター第24弾が登場！　テーマは「高御座（たかみくら）」

この度、京都創生推進フォーラムと京都市が、京都創生PRポスター「日本に、京都があってよかった。」の第24弾を発行しました。

今回のポスターでは、京都御所の「高御座（たかみくら）」をご紹介しています。

「高御座」は、天皇の即位の礼で用いられるもので、全国で唯一、京都御所の「紫宸殿（ししんでん）」に据えられています。

このポスターを市民の皆様をはじめ、多くの方々にご覧いただき、京都がもつ歴史的・文化的資産の素晴らしさを再認識していただくとともに、かけがえのない文化を守り、育て、未来に伝えていく機運を高めていきたいと考えています。

※本ポスターと同デザインの京都市営地下鉄『地下鉄１dayカード』も発売予定です！

京都創生連続セミナー

京都創生推進フォーラムと京都市では、歴史と伝統を受け継ぎながら、世界の人々を魅了し続ける京都を、未来に大切に引き継いでいくために、私たち一人一人ができることを考えるきっかけとなるよう、京都創生連続セミナーを開催しています。今年度は「御粽司　川端道喜が見た京の歴史」「京の庭園　美と技の継承」をテーマに開催しました。

第22回　御粽司 川端道喜が見た京の歴史

開催日：平成26年12月6日（土）　　会　場：京都商工会議所　講堂
講　師：川端　知嘉子 さん（御粽司 川端道喜 16代代行）

《主な内容》

■御所と町衆の関わり

今では考えられないことですが、応仁の乱で京都が荒れていた頃、一般人であった初代道喜は、毎朝、御所の天皇がおられる庭先まで朝ごはんをお届けしていました。当時、御所の西側に住んでいた六町衆は、警備、掃除、修繕など色々なお世話をしていたようです。町衆みんなで、自然な感じで、天皇を大事にしてきたのではないかと思います。

■声なくして人を呼ぶ

川端家に伝わる「起請文」には、「声なくして人を呼ぶ」と書かれています。これは、宣伝するなということですが、とにかく乱造しないで品物を大事にしなさいということを伝えているのだと思います。

■町衆がつくってきた京都の文化

大量生産ではなく、お店の人が丁寧に吟味してつくったり売ったりしてるのが、京都の良さではないかと思います。

京都は、長年、都であったおかげで、文化が洗練されてきました。しかし、ここ数年は、経済効果が優先され、大切に積み重ねられてきた価値観が失われつつあるように思います。町衆が五感全てを使って作り上げてきたこの京都の美しい文化を、みんなでしっかりと守っていきたいと思います。

第23回　京の庭園　美と技の継承

開催日：平成27年1月24日（土）　　会　場：池坊学園こころホール
講　師：小川　勝章 さん（㈱造園「植治」次期12代）

《主な内容》

■お庭に込められた先人の想い

かつてつくられたお庭には、先人の方が一生懸命込められた想いや技が残っています。お庭を見て「綺麗だった」「気持ちよかった」と感じるその先にある、見えない想いや技を受けとめ、伝えていきたいと思います。

■お庭に自然を感じる

山を崩した土で山を築き、木や石を掘り起こして移動させるという人工の不自然さの中に、自然への敬意や憧れを込めて、お庭は生み出されます。

不自然であったはずのお庭では、時間を掛けて独自の自然が循環を始めます。豊かな自然と触れ合う機会が減少している現代において、自分の目の前にある自然が、遠くの自然や、出会ったことのない自然とつながっているかもしれない、そんな風に感じていただけるような、お庭づくりに取り組んでいます。

※京都創生連続セミナーの詳細は、「京都創生推進フォーラム」のホームページにアクセスすればご覧いただくことができます。（アドレス　http://www.kyoto-sousei.jp/）

イベントカレンダー

京都創生推進フォーラム会員が実施する催し等をご紹介します。

京都創生推進フォーラムのホームページでも、当会員が実施する催しを紹介しています。
（アドレス http://www.kyoto-sousei.jp/）

事業名	概要	開催期間	会場（住所）	料金	申込	主催者等
大徳寺黄梅院 春の特別公開	千利休作庭の「直中庭」や日本禅宗寺院最古の庫裡などを公開。	開催中～ 5/10(日) 10:00～16:00	大徳寺黄梅院 （京都市北区紫野大徳寺町）	600円	不要	京都春秋事務局 （075－231－7015）
仁和寺霊宝館 春季名宝展	国宝阿弥陀三尊像を始め、仁和寺に伝わる宝物を多数公開します。	4/1(水)～ 5/24(日) 9:00～17:00 （16:30受付終了）	仁和寺霊宝館 （京都市右京区御室大内33）	500円	不要	総本山仁和寺 （075－461－1155）
嵯峨大念仏狂言 春季公演	嵯峨清涼寺の狂言堂で毎年春に行われる大念仏狂言の公演です。	4/5(日) 4/11(土) 4/12(日) 13:30～16:30	嵯峨・清涼寺境内 狂言堂 （京都市右京区嵯峨釈迦堂藤ノ木町46）	無料	不要	嵯峨大念仏狂言保存会 （075－861－0343）
第17回春季京都非公開文化財特別公開	非公開文化財を公開して、文化財愛護を広める。	4/29（水・祝） ～5/10(日) 9:00～16:00	金戒光明寺 山門 （京都市左京区黒谷町121）	大人 800円 中高生 400円	不要	金戒光明寺 公益財団法人京都古文化保存協会 （075－561－1795）
京都景観フォーラム 総会・活動報告会	平成26年度活動報告と、京都の景観を良くするための行動を考える。	5/17(日) 13:30～17:00	京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム （京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83－1 ひと・まち交流館 京都地下1階）	500円	要	NPO法人 京都景観フォーラム （メール：kyotokeikanforum@yahoo.co.jp） ※メールでお問い合わせ下さい。
第66回京都薪能	夕闇の平安神宮に篝火が焚かれ、能と狂言の競演は幽玄の世界へ誘う。	6/1(月)～ 6/2(火) 17:30～20:40	平安神宮 （京都市左京区岡崎西天王町）	前売券 3,000円 当日券 4,000円	要	京都市 （075－366－0033） 京都能楽会 （075－771－6114）

○各事業の詳細は、主催者へお問い合わせください。
○内容は、予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。

京都創生推進フォーラム広報誌　「京都創生」
発行日　平成27年3月27日
発　行　京都創生推進フォーラム（事務局：(公財) 京都文化交流コンベンションビューロー　京都市中京区烏丸通夷川上ル　京都商工会議所ビル5F　TEL.075-212-4540　FAX.075-212-4121）